

## 医薬品インタビューフォーム

日本病院薬剤師会のIF記載要領 2013 に準拠して作成

胃炎・潰瘍治療剤

**マーズレン<sup>®</sup>S 配合顆粒**  
**マーズレン<sup>®</sup> 配合錠0.375ES**  
**マーズレン<sup>®</sup> 配合錠0.5ES**  
**マーズレン<sup>®</sup> 配合錠1.0ES**

MARZULENE S COMBINATION GRANULES/MARZULENE COMBINATION TABLETS 0.375ES  
 MARZULENE COMBINATION TABLETS 0.5ES/MARZULENE COMBINATION TABLETS 1.0ES

剤形	顆粒剤		錠剤	
製剤の規制区分	該当しない			
規格・含量	マーズレン <sup>®</sup> S配合顆粒	: アズレンスルホン酸ナトリウム水和物3mg、 L-グルタミン990mgを含有 (1g中)		
	マーズレン <sup>®</sup> 配合錠0.375ES	: アズレンスルホン酸ナトリウム水和物0.75mg、 L-グルタミン247.5mgを含有 (1錠中)		
	マーズレン <sup>®</sup> 配合錠0.5ES	: アズレンスルホン酸ナトリウム水和物:1mg、 L-グルタミン:330mgを含有 (1錠中)		
	マーズレン <sup>®</sup> 配合錠1.0ES	: アズレンスルホン酸ナトリウム水和物:2mg、 L-グルタミン:660mgを含有 (1錠中)		
一般名	該当しない			
製造販売承認年月日 薬価基準収載 ・発売年月日		製造承認年月	薬価基準収載 年月日	発売年月日
	マーズレン <sup>®</sup> S 配合顆粒	2009年6月19日 (販売名変更による)	2009年9月25日 (販売名変更による)	1969年 5月5日
	マーズレン <sup>®</sup> 配合錠0.375ES	2009年7月13日	2009年11月13日	2009年11月13日
	マーズレン <sup>®</sup> 配合錠0.5ES	2008年3月14日	2008年 7月 4日	2008年 7月 4日
	マーズレン <sup>®</sup> 配合錠1.0ES	2008年8月13日 (販売名変更による)	2008年12月19日 (販売名変更による)	2003年 9月26日
開発・製造販売(輸入) 提携・販売会社名	製造販売元 : 寿製薬株式会社 販売元 : EAファーマ株式会社			
医薬情報担当者の連絡先				
問い合わせ窓口	EAファーマ株式会社 くすり相談 TEL:0120-917-719 医療関係者向けホームページ <a href="http://www.eapharma.co.jp/">http://www.eapharma.co.jp/</a>			

本IFは 2016年4月作成の添付文書の記載に基づき改訂した。

最新の添付文書情報は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> にてご確認ください。

## Ⅹ. 備 考

### その他の関連資料

#### マーズレン®配合顆粒 配合変化表

1. 「マーズレン®S配合顆粒」0.67gと各種薬剤を配合し、分包を開封し、ろ紙上に移した後、ガラス瓶中で混合し密栓後、25℃・75%RH及び成り行き温度で保存した。配合直後、2、7、14、28日後の配合物の外観(固化、変色等)及び匂いを観察した<sup>1)</sup>。

薬効分類名	薬剤名	一般名	会社名	配合量 (g)	結果
消化性潰瘍用剤	「ガスター散10%」	ファモチジン	アステラス製薬	0.2	変化なし
	「タガメット細粒20%」	シメチジン	大日本住友製薬	1.0	変化なし
	「セルベックス細粒10%」	テブレノン	エーザイ=EAファーマ	0.5	変化なし
	「ノイエール細粒40%」	セトラキサート塩酸塩	第一三共エスファ	0.5	変化なし
その他の 消化器官用薬	「ナウゼリン細粒1%」	ドンペリドン	協和発酵キリン	1.0	変化なし
	「セレキノン細粒20%」	トリメブチンマレイン酸塩	田辺三菱製薬	0.5	変化なし
制酸剤	酸化マグネシウム	酸化マグネシウム	日局品	1.0	変化なし
血圧降下剤	「ペルジピン散10%」	ニカルジピン塩酸塩	アステラス製薬	0.2	変化なし
	「カプトリル細粒5%」	カプトプリル	第一三共エスファ	0.5	変化なし
高脂血症用剤	「メバロチン細粒1%」	プラバスタチンナトリウム	第一三共	0.5	変化なし
血管拡張剤	「ロコルナル細粒10%」	トラビジル	持田製薬	1.0	変化なし
解熱鎮痛消炎剤	「ロキソニン細粒10%」	ロキソプロフェンナトリウム	第一三共	0.6	変化なし
	「アスピリン「ヨシダ」」	アスピリン	吉田製薬	1.0	変化なし
鎮けい剤	「ミオナル顆粒10%」	エペリゾン塩酸塩	エーザイ	0.5	変化なし
抗生物質製剤	「L-ケフラル顆粒」	セファクロル	塩野義製薬	0.75	変化なし
	「ミノマイシン顆粒2%」	ミノサイクリン塩酸塩	ファイザー	1.0	変化なし
	「セフspan細粒50mg」	セフィキシム水和物	長生堂製薬=日本ジェネリック	1.0	変化なし
気管支拡張剤	「メプチン顆粒0.01%」	プロカテロール塩酸塩	大塚製薬	0.5	変化なし
その他の アレルギー用薬	「アゼブチン顆粒0.2%」	アゼラスチン塩酸塩	エーザイ	0.5	変化なし
漢方製剤	ツムラ小柴胡湯エキス顆粒 (医療用)	小柴胡湯エキス	ツムラ	2.5	注) 14日後: 褐± 28日後: 褐+・固±
	ツムラ柴苓湯エキス顆粒 (医療用)	柴苓湯エキス	ツムラ	2.5	
	ツムラ六君子湯エキス顆粒 (医療用)	六君子湯エキス	ツムラ	2.5	
その他の 血液・体液用薬	「パナルジン細粒10%」	チクロジピン塩酸塩	サノフィ	1.0	変化なし
ビタミンB剤	「メチコバール細粒0.1%」	メコバラミン	エーザイ	0.5	変化なし

注) 25℃・75%RH、褐:褐色に変化、固:固化、±:変化の有無が疑わしいもの、+:明らかに変化は認められるが、実際の調剤投与に差し支えないもの

## ⅩⅡ. 備 考

2. 「マーズレン®S配合顆粒」8.93gと「アルサルミン細粒90%」5.33gを均一に混ぜて調整したものを褐色ガラス瓶に入れ密栓後、25℃・暗所及び40℃・75%RH・暗所で2ヵ月間保存した。配合直後、2週間、2ヵ月後の配合品の性状及びアズレンスルホン酸ナトリウム水和物の性状を観察した<sup>2)</sup>。

なお、「マーズレン®S配合顆粒」8.93gと「アルサルミン細粒90%」5.33gの配合比率は、1回投与量に換算すると、「マーズレン®S配合顆粒」0.67g、「アルサルミン細粒90%」0.4gに相当する。

薬効分類名	薬剤名	一般名	会社名	配合量 (g)	結果
消化性潰瘍用剤	「アルサルミン細粒90%」	スクラルファート水和物	中外製薬	5.33	2ヵ月後：退色・含量低下

